

岐阜県の プラスチック

- ・岐阜で中部の業界団体懇談会を開催
└ 成形加工業が現況報告し交流 ┘
- ・岐阜県の航空宇宙産業と支援施策（講演要旨）
- ・低率だった射出成形技能検定の合格率
- ・新年互礼会は1月27日（金）
- ・工場見学会は2月3日（金）

講演を聞く中部業界団体懇談会出席者



岐阜で中部の業界団体懇談会を開催

成形加工業が現況報告し交流 見学会と講演会は航空宇宙産業

中部4県下のプラスチック成形加工団体は10月21日午後、当工業組合がホストになり岐阜市にある岐阜グランドホテルで『中部地区業界団体懇談会』を開催した。

参加者は中部日本プラスチック製品工業協会を中心に愛知県プラスチック成形工業組合、富山県プラスチック工業会、石川県プラスチック成型加工工業協同組合に岐阜県プラスチック工業組合が加わる5団体代表28人。当工業組合からは児玉栄一理事長はじめ副理事長・理事ら11人が出席、各県代表を迎えて意見交換するなど交流を深めた。

工場見学の後 懇談と講演会

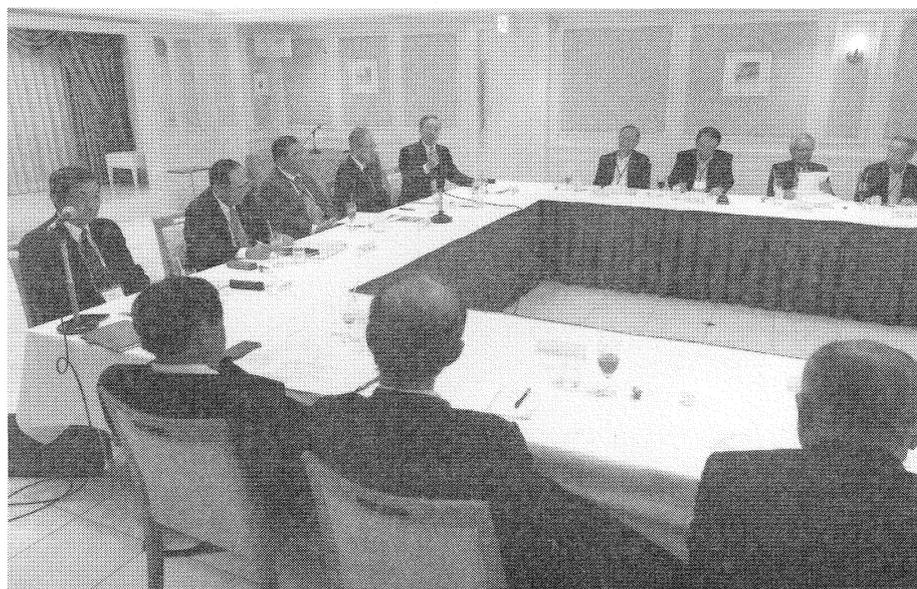
懇談会は4県下の業界団体が毎年持ち回り開催し、岐阜県開催は平成24年11月に次いで2回目となった。

事業内容は最初に各務原市にある川崎重工業(株)航空宇宙カンパニーへ直行、フライト・

エプロンのエンジン音を聞きながら航空機の製造・修理・分担生産する工場施設を見学した後、岐阜グランドホテルへ移り、懇談会と講演会を開催した。

講演は航空宇宙産業と支援施策

懇談会は最初に当工業組合の児玉栄一理事長が「今回の懇談会は東海地方で新産業として脚光浴びる航空宇宙産業、とくに岐阜県航空宇宙産業の現状にスポットを当ててみました。懇談会に先立ち見学していただいたのは、航空宇宙



中部の業界5団体の代表が岐阜に集まり現況を報告して懇談

産業の要である川崎重工業(株)航空宇宙カンパニーで、この懇談会后、岐阜県商工労働部次長の堀部哲さんを招き、岐阜県の航空宇宙産業と支援施策で講話をいただきます」と開会あいさつした。(見学は5頁、講演は6頁に紹介)

地域中小企業の業況と課題

「各県代表からプラ業界の現況報告」

続く懇親会は児玉理事長がコーディネーターとなり、各団体代表から次のように業況や課題

をテーマに発言があった。

正会員が年々減少傾向をたどる

《横山真喜男中部日本プラスチック製品工業協会会長》5月に選ばれたばかりで詳細は申しあげられませんが、協会は現在165社で内訳は愛知が155社、岐阜5社、三重3社、石川2社で、中部とはいいながらも愛知県に片寄っております。昨年度は3社入会し5社退会し、年々減少傾向にあります。賛助会員は増えたのですが、正会員の減少を食い止める方法を検討しているところです。

事業では先にアンケートを実施、売上不振、技術者不足、人材不足、事業承継が課題と判ったので、協会事業として打つ手を考えていきたい。一般向けは「11月14日プラスチックの日」に、毎年何らかの事業を企画していきたい。

県内大企業からの受注促進を図る

《高田順一富山県プラスチック工業会会長》富山県が実施する“ものづくり企業活性化”の事業に参加、業界振興策に取り組んでいるところです。企業連携協議会では“会員企業の技術



業界の課題は組合員減少や人材育成が中心

力を高め、県内大企業からの受注促進”を目標に定めたところです。また成長産業へ仲間入りするためプラスチック関連施設の導入を要望、さらにIoT活用への環境づくり推進をテーマに検討開始したところです。

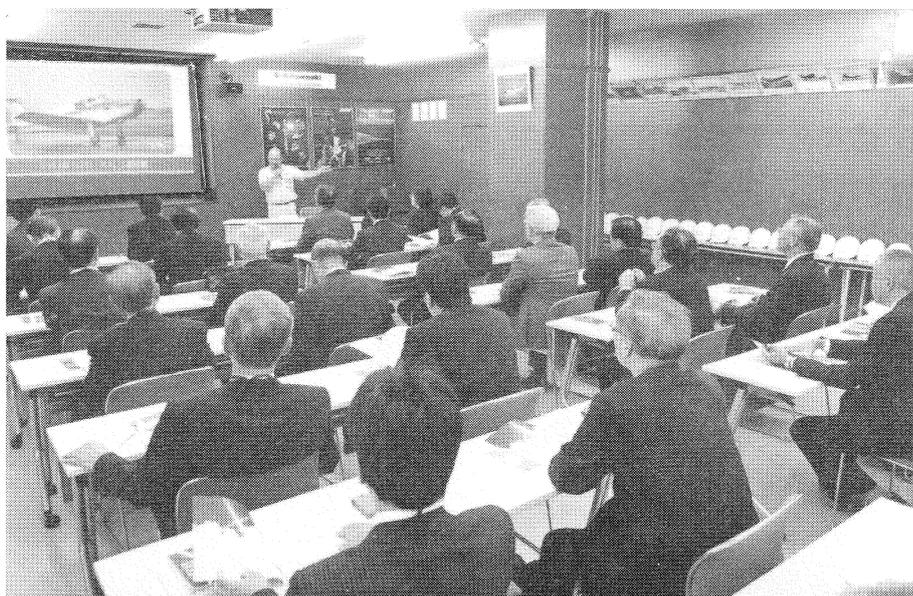
工業会では、社内制度として押出成形の自主検定制度を実施しています。能力開発協会から国の検定制度を導入したら…と打診がありましたが、実施体制はもとより受検者が揃わないので、実現はまだ先になります。

事業面でも北陸と東海の連携を

《馬場貢石川県プラスチック成型加工工業協同組合理事長》石川県のプラスチック加工業界

は零細企業ばかりで、皆さんの組合運営や事業を見習っています。

最近の金沢観光は新幹線効果で陽が当たり喜んでおりますが、残念ながら成形加工業界はあまり恩恵はありません。岐阜県の航空宇宙産業は成形加工業界へ大きく波及することでしょうが、石川県には核となる企業や業界



懇談会に先立ち各務原市にある航空宇宙カンパニーを見学

がありません。高速自動車道の開通で、北陸と東海の交流が盛んになってきたが、成形加工事業でも連携の道が開けないものなのでしょうか。

低い検定合格率の改善図りたい

《原田一雄愛知県プラスチック工業組合理事長》愛知県の組合事業も全国各県と変わらぬ事業ばかりで、人材育成と検定事業が中心です。ただし1・2級射出成形作業の実技受検者数は毎年全国一で、今年も823人にのぼり、検定委員も90人ほどおります。実技受検のピークは5年ほど前で900人を超えました。

毎年、大量受検者を裁く検定事業も大変ですが、検定合格率の低さに課題があるので、改善し検定事業の価値を高めていきたい。

組合運営では組合員減少が大きな課題です。いま会員増強対策を検討しているところで、当面は停滞している8支部と青年会を活性化させ減少を食い止め、会員増強を図る方針です。

検定施設更新と初心者研修実施

《児玉栄一岐阜県プラスチック工業組合理事長》岐阜県が昨年と異なることは、検定事業に使用する射出成形機2台が検定会場施設とともに更新されたことです。組合員企業にはあまり導入されていない最新機種なので、初検定では受検者が戸惑ったほどです。

毎年、実施している事業の中では初任者研修があり、技能者育成と定着対策をかねて好評を得ています。小規模成形加工業は中途採用が多く、企業内研修は進みません。しかも採用者は成形業務未経験者が多いので、こうした新入社員や初心者を対象に毎年、研修会を実施しているのです。指導員や使

用成形機の都合で定員を10人にしぼり、成形加工の基礎知識から実機による成形加工、さらには成形不良対策まで勉強してもらっています。

新事業では中部電力と共同で省エネの進め方と省エネ事例発表会を共催し、生産コスト削減の一助として普及を図ることにしました。

まとめと参加者全員の交流

「鈴木啓之全日本プラ新会長も参加」

懇親会では会員減少対策に始まり技術・技能者育成や技術開発、企業連携への課題が多かった。工場見学と講演会は、岐阜県の航空宇宙産業を事例に取り上げ、概況から動向、支援施策まで、有意義な話を聞くことができた。

最後の懇親会には堀部哲岐阜県商工労働部次長と河田賢次岐阜県産業技術センター所長を来賓に招き、全員参加の交流と懇親を深めた。

全日本プラスチック製品工業連合会の新会長に選ばれた鈴木啓之さん（愛知県）も駆けつけ「この機会に中部日本プラ協会へ加入してほしい。組織強化が進めば中部の全日本への発言力を高めることができる」と呼びかけた。

なお、次年度の開催は富山県に決まった。



↑大戦の空爆にも耐えた旧本館前で見学記念の撮影
見学コースの最終は轟音響くフライト・エプロン→

業界団体代表の工場見学

航空宇宙機器の先端産業 国際競争力ある総合工場

各務原市の航空宇宙カンパニー

飛燕を量産したが大空襲で破壊

川崎重工業(株)の航空宇宙カンパニーがある各務原市中心部は、かつて度重なる洪水で生じた広大な台地・各務野と呼ばれていた。大正時代に官民一体となる飛行場、鉄道、工場、学校の建設が始まり大正12年、前身の川崎造船所も飛行場に隣接して飛行機組立工場を建てた。

昭和に入り川崎航空機工業として独立、大戦時には飛燕などを量産したことで知られるが、米軍の空爆で壊滅した。戦後の空白期間を経た昭和29年、川崎航空機工業として新発足、航空機製造会社として復活した。川崎3社の合併では川崎重工業(株)岐阜工場に名を替えたが、今日では航空機から宇宙機器まで製造・修理する総合メーカーへと成長している。

飛行機作り百年、1万機を生産

見学会を迎えて尾崎人事総務部長は「航空機事業はライト兄弟が飛行機を開発して間もない大正12年に開始、やがて百年、累計1万機を生産した」とあいさつ、会社概況を説明した。

この岐阜工場は72万平方メートルの用地に関連会社を含め6千人が働く航空宇宙開発の拠点。敷地を

高山線と名鉄電車が通り北工場、中工場、南工場に分かれる不思議な形の工場である。

見学は北工場東のヘリコプター組立工場からスタート。BK117Cヘリ、大型輸送ヘリ、ターボメカのCH-101型の組立が進んでいた。117ヘリは世界中に1200機も輸出しているベストセラー機で、消防・防災はもとより、近年はドクター・ヘリとして大活躍している。

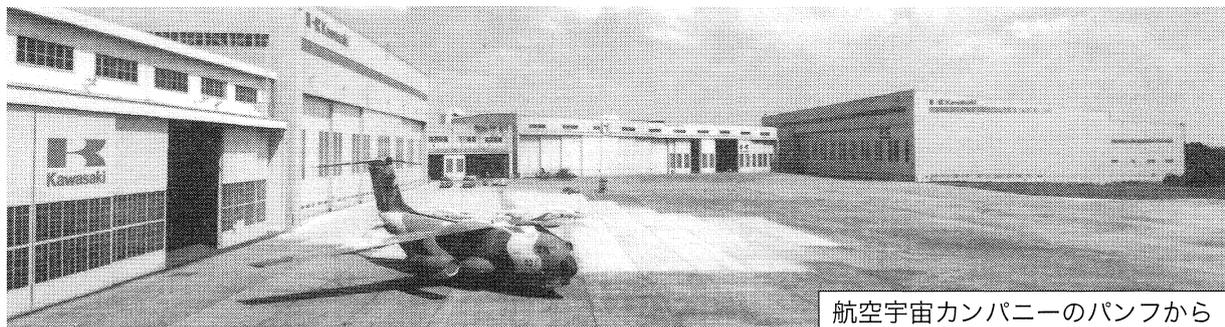
分担生産工程の自動化を進める

西側の大型組立工場では、ボーイング社と共同開発する777旅客機、767旅客機の胴体部分を分担生産中で、さらに最新型旅客機787の国際共同開発にも加わった。部分組立後は名古屋工場で最終組立し、米国へ輸出している。

製造工程では自動・多軸成形装置のシートストレッチャーや自動打鋌装置などを導入、コストダウンと量産化を図った。衛星ロケット打上げ時に使うフェアリングはここで作っている。

中工場には複合材、機械加工、塗装などの建屋、南工場には組立・修理工場が並ぶ。フライト・エプロンでは迷彩色の輸送ヘリや輸送機C1が機体を休め、誘導路に近い格納庫では新型輸送機C2が巨大な尾翼を突き出していた。

見学に先立ち記念撮影した旧本館について尾崎部長は「8階建ての新総合ビルが完成するので、空爆に耐えた旧本館を取り壊して新総合ビルの残り半分を建設、次世代航空宇宙開発への新しい拠点施設にしたい」と話していた。



航空宇宙カンパニーのパンフから

業界5団体代表を招いて講演会開催

岐阜県の航空宇宙関連出荷額は全国第3位

堀部哲・岐阜県商工労働部次長の講演要旨

中部の業界5団体は工場見学会・懇談会に続いて『岐阜県の航空宇宙産業と支援施策』をテーマに講演会を開いた。講師は岐阜県商工労働部次長の堀部哲さんで「岐阜県には航空宇宙関連の大手メーカー・中小サプライヤーが集積し、製品出荷額で全国3位、企業数・従業員数では全国2位を記録、うち製造品出荷額は4年間で4割も伸びた」とし、岐阜県は「成長・雇用戦略に基づきキメ細かな支援策を展開していく」と話した。

講演会は川崎重工業(株)航空宇宙カンパニーの工場見学会と関連し、岐阜県全体の航空宇宙産業の現況と振興施策のあり方を知るため、航空宇宙産業支援施策に取り組んでこられた堀部さんを招いて開催、次は講演要旨である。

アジア・環太平洋で旅客が増加

◎…中部地域や岐阜県の航空宇宙産業を見る前に“なぜ航空機産業の成長が期待されるか”を探る必要がある。民間航空機関連のデータベースによると、世界の民間航空機需要予測は3年前の実績で1万9208機、20年後は3万6769機が予測される。その市場規模は20年間に約26兆円から80兆円へ膨らむと推測している。

航空旅客の需要増大はアジア・環太平洋地域を中心に広がり、MRJなど中小型機（120～169席）やリージョナル機（60～99席）の新規需要が2倍に増えると予測している。

裾野が広く息は長いが参入困難

◎…わが国の航空機関連産業の親摸は現在2兆円弱（平成26年度は1.8兆円）で50兆円規模の自動車産業に比較すると、まだ小さいものの今後の航空機需要と相まって成長は著しい。

戦後の航空機産業は、昭和27年（1952）米軍機の修理で再開、以後は米軍機のライセンス生産や国産防衛航空機を主に技術を蓄積、さらに

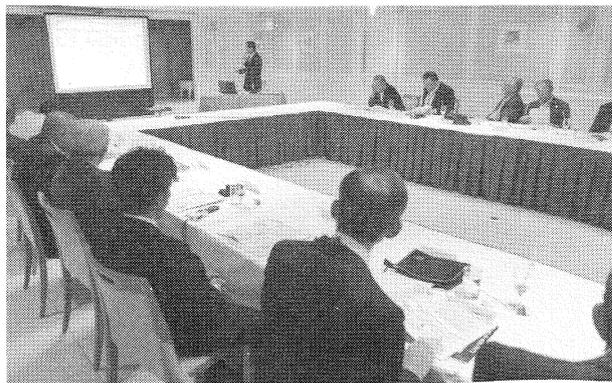
ボーイング社との国際共同開発・生産により急速に増加した。この民需の大幅な伸びから平成30年代（2020年代）の後半には3兆円規模の基幹製造産業へと成長が見込まれる。

航空機産業は①裾野が広く息の長い産業であるが、新規参入が困難②開発した最先端技術が他の産業分野に波及していく。新規参入には高度な製造技術や高い品質保証能力が不可欠などの特色と課題がある。

根付いたのは木材と職人が多い

◎…こうした背景の中で中部地域に航空宇宙産業が根付いた理由は何か。黎明期の飛行機は木製であったため、木材が集積し精密加工職人が多い岐阜、愛知、三重に注目された。

最初は大正6年（1917）に旧陸軍2番目の飛行場（現航空自衛隊岐阜基地）が各務原市に開設され、名古屋市大江に三菱内燃機（現三菱重



航空宇宙産業と支援施策がテーマの講演会

工業)が工場を、各務原飛行場に隣接して川崎造船所(現川崎重工業)が組立工場を、さらに半田市では中島飛行機(現富士重工業)が立地し、各社は航空機生産に取り組んできた。

大戦後3社の機体メーカーは立地した工場を生産拠点に成長を続け、さらには集積した中小企業の下支えと協力を得て、全国の航空機体・部品生産シェアは約50%を占める。また航空機部材や工作機械メーカーも地元へ立地するという他地域にはない特性が加わり、中部地域は航空宇宙産業の一大産地を形成した。

岐阜県の製造出荷額は全国3位

◎…岐阜県の航空宇宙産業の規模はどうか。平成26年の県内製造品出荷額は5兆1012億円で輸送用機械は17.6%・8979億円でトップ。このうち航空機と機体部品・付属品は2571億円で、全国生産の13.8%を占めて3位。従業員数はリーマン・ショックで一時減少したが、平成26年には7941人へと盛り返し全国2位になった。

製造業出荷額の増加率は5.7%に対し、航空宇宙産業は平成22年から5年間で38.4%も伸びた。関連企業数は約50社。航空機製造の川崎重工業、油圧機器や操縦システム製造のナブテスコの大手メーカーに加え、川崎岐阜協22社を始め中小サプライヤーが立地している。

中小サプライヤーは機体メーカーの二次下請けで、主としてエンジン部品の切削加工、組立・治工具の製造を担い、近年は自動車・工作機械から航空宇宙産業へ新規参入を目指す企業も生まれつつある。

航空産業倍増プロジェクト化進む

◎…岐阜県は平成26年、成長産業5分野(航空宇宙、医薬品、食料品、次世代エネルギー、医療・福祉機器)を成長産業と位置付け「岐阜県成長・雇用戦略」を策定した。

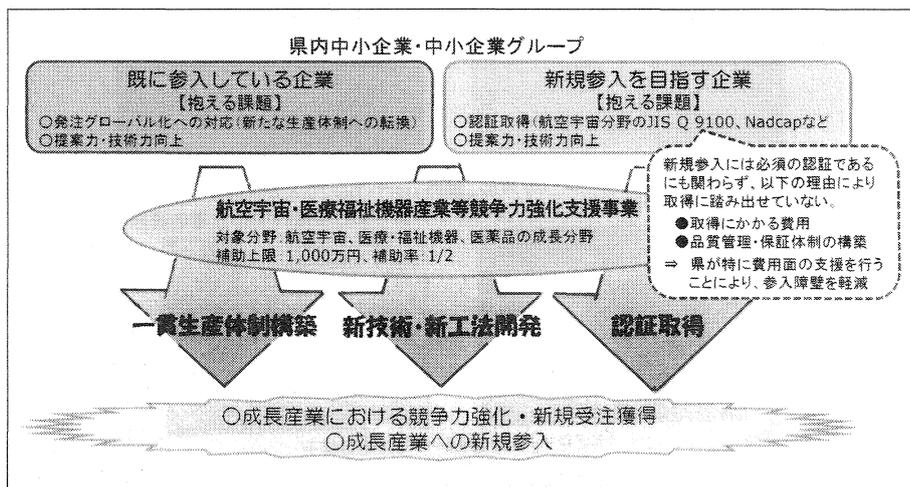
航空宇宙産業では出荷額倍増プロジェクトをテーマに、現在の2571億円から目標の平成32年までに4千億円を目指す。

平成28年度の支援施策は①環境整備②競争力強化・新規参入③産学官連携④研究開発⑤人材育成⑥販路拡大・海外展開一など6区分16事業に分け、9億1863万円を計上して進める。

戦略特区指定は21市町の53社に

◎…重点は国際戦略総合特区(アジア No.1 航空宇宙産業クラスター形成特区)の指定で、認定市町村は中部5県で67市町村・159社に達し、岐阜県は愛知県に次いで多い21市町・53社が指定された。認定企業は規制特例措置、金融支援措置、税制支援措置を受けることになる。

人材育成では11月に利用開始した成長産業人材育成センター、来春オープンするモノづくり教育プラザ、リニューアル工事中の航空宇宙科学博物館を2年後に開館するなど「次代を担う施設にも力を入れる方針」という。



射出成形の検定合格は1級7人、2級12人

「28年度前期技能検定の合格者数はかつてない低率」

平成28年度前期技能検定『プラスチック成形・射出成形作業』の合格者発表があり1級7人、2級12人が合格した。

1級は33人受検し合格率は21.2%、2級は77人受検し合格率は15.6%で、この合格率はかつてない低率であった。今年も新型の成形機を使用したこともあり、取り扱いの不慣れや、時間オーバーによる失格が目立った。

県内の射出成形技能士は、累計で1級219人、2級742人になった。次は組合関係の合格者。

《1級技能士合格者》

安藤 正明 (岐阜プラスチック工業(株))
伊藤 大宣 (岐阜プラスチック工業(株))
中野 亨 (岐阜プラスチック工業(株))
梅津 敬広 (メルコファンプロダクツ(株))

《2級技能士合格者》

鵜飼 美穂 (岐阜プラスチック工業(株))
長屋 章吾 (岐阜プラスチック工業(株))
三輪 藍香 (クラレプラスチック(株))
鬼藤 賢治 (岐阜プラスチック工業(株))
川瀬 雄基 (ムトー精工(株))

西田 拓司 (岐阜プラスチック工業(株))
北村 厚 (西濃化成(株))
木村 幸史 (関プラスチック工業(株))

「ブロー成形と金型の検定」

「28年度後期技能検定の実施予定」

28年度後期技能検定『プラスチック成形ブロー成形作業』と『プラスチック成形用金型製作作業』が公示され当工業組合が委託実施する。プラスチック成形用金型製作作業は、新春1月30日から4日間、これまでと同じコダマ樹脂工業(株)本社工場のブロー成形機を借り受けて実施する。受検者は1級3人、2級は2人。成形用金型製作作業は日程などを調整中。

この他、プラスチック関連職種の特級『プラスチック成形』『機械検査J』をはじめ1・2級『機械検査』『機械・プラント製図』などの技能検定も例年通り行われる。

学科試験は1月29日(日)に特級と金型製作1・2級、ブロー成形は2月5日(日)に、合格者発表は3月10日(金)に予定される。

「面白い事業を始めたい」

「組合青年部が検討会で方針決める」

組合青年部は10月12日、年間行事検討会を開いた。検討した結果①組合青年部への加入促進②新年度から県内各地の展示会へ積極的に参加③各業界の青年部との交流促進④組合員企業へ青年部ニュースを配布一を決めた。

組合青年部活動は近年停滞していたため「プラスチックの青年部は面白い事業を始めたい」といわれるように活性化を図っていく。とくに県

内展示会へ積極的に参加していく。当面は多治見市で開く「き」業展や岐阜テクノフェアへの出展を準備する方針。(下の写真は検討会)



前期技能検定実技試験を終えて

首席検定委員 長屋喜八

検定会場が新しくなり、射出成形機も最新の電動成形機の設置で、受検者にとって非常に恵まれた作業環境になりました。岐阜県はじめ関係各位のご尽力によるものと感謝しております。

しかし結果は、失格者（時間超過）が非常に多く、合格者が少なかったことです。最新の成形機なのか、取り扱いに慣れず、戸惑いがあり、良い成形品を作る条件出しに時間をかけ過ぎ、結局は作業時間オーバーの失格になったようです。

ベストな成形品を作る努力は必要なことですが、あくまでもルールのある検定試験です。制限時間内に作業を終了することが第一条件です。時間配分を十分に考え、作業に取り組んでいただきたい。

技能検定に合格した体験記

岐阜プラスチック工業㈱ 鶴飼美穂

私は入社2年目で射出成形の経験が浅くほぼゼロからの技能検定挑戦でした。基本から取り組んだのですが、成形機の機構や名称、操作手順、成形条件など、分からないことが山ほどありました。

まず分からないことを一つひとつ取り出し、上司や先輩に質問し、順々に理解を深めていきました。さらに説明資料や書籍を何度も読み返し、そのポイントを書き出しオリジナルの操作マニュアルを作成すると少しずつながら理解が進みました。

検定受検で成形知識を大いに深めれましたが、同時に、立ちほだかる困難に挑戦していくことの大切さも知りました。技能検定を通じて得た知識と技術を磨き、さらにスキルアップを図りたいと思います。

職業能力開発促進大会開催

「明光化成の安藤孝光さんが知事表彰」

岐阜県と岐阜県職業能力開発協会は、11月29日、岐阜市長良にあるぎふ清流文化プラザの長良川ホールで『第37回岐阜県職業能力開発促進大会』を開催した。大会は職業訓練や技能検定



長良川ホールで開いた職業能力開発促進大会

関係者が集まり成績優秀者169人を表彰した。

組合関係では明光化成工業㈱の安藤孝光さんが「プラスチック製品塗装工として32年間従事し、高輝度塗装を仕上げる特殊な技能を確立、さらに技能のオートメーション化にも貢献した卓越技能者」として知事表彰を受賞した。

次はプラスチック部門で受賞したみなさん。

《知事表彰・卓越技能者》

◇安藤 孝光（明光化成工業㈱）

《協会長表彰・技能検定成績優秀者》

◇特級プラスチック成形

木村 隆志（岐阜プラスチック工業㈱）

◇1級プラスチック成形・射出成形

中野 亨（岐阜プラスチック工業㈱）

◇2級プラスチック成形・射出成形

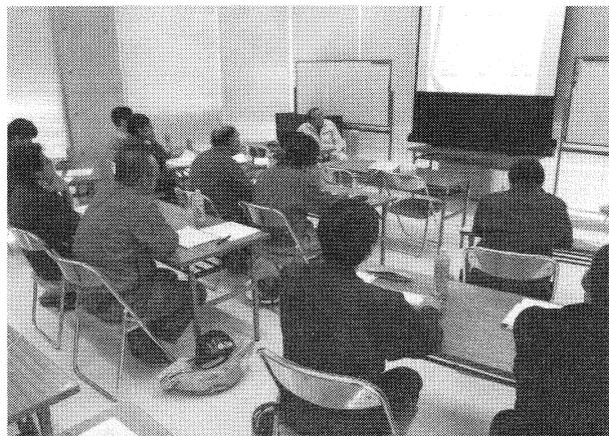
後藤 卓弘（明光化成工業㈱）

新入社員や初心者対象に初任者研修会実施

高分子の基礎から射出成形操作や不良対策まで

工業組合は11月14日から11日間、岐阜県産業技術センターと共催で『プラスチック射出成形初任者研修会』を実施した。組合員企業の人材育成と定着促進を支援するのが目的で、射出成形の初心者や成形基礎知識が必要な人材、技能検定を目指す初任者ら10人が参加した。

研修会場は各務原市にある人材開発支援センター4階研修室で知識講習を行い、午後以降は射出成形室に移り成形機に取り組んだ。(写真は初任者研修の知識講習と成形機操作実習)



知識講習後一人ひとり成形実習

初日の知識講習は①高分子の基礎②プラスチックの特性③プラスチックの加工法—が内容で県産業技術センターの연구원と指導員が講師になった。高分子の基礎では「樹脂は原料、プラスチックは製品」という定義から分類・添加剤・安定化剤・強化剤・改良剤・難燃化剤、さら

に抗菌防カビ剤まで、高分子の基礎知識を学んだ。成形するに当たり樹脂の特性から選択方法まで、詳細な説明があり講師は「樹脂材料には長所・短所が共存するため、成形目的や製品仕様に合わせて適切に選択する必要がある」と強調していた。

最後は成形加工法で、始めに成形加工法の基本と加工方法の圧縮成形から発泡成形まで12種類の概要を聞いた後、研修目的の①射出成形の仕組み②成形機の構造と機能③金型と成形機の関係④成形条件⑤成形不良の原因と対策—を聞いて、午後からの実技講習に備えた。

2日目以降は個別実習で1人1日実機に取り組み、金型取付け・取り外し、成形条件の設定、材料替え、成形不良対策の指導を受けた。

Plus New Idea

射出成形の未来を拓く。

日精樹脂工業は、お客様が抱える成形加工における煩わしさの低減や付加価値の高いモノづくりに向けた多彩な技術提案をさせていただきます。

射出成形をトータルサポート

成形材料
成形工法

金型
自動化システム
周辺機器

2色・異材質

複合材成形

厚肉成形

射出成形機

インサート成形

高性能射出成形機
NEX-III Series (電気式)
FNX-III Series (ハイブリッド式)

MIM

多層成形

NISSEI

射出成形機・金型・成形支援システム

日精樹脂工業株式会社

本社 工場 / 〒389-0693 岐阜県瑞穂郡坂城町南条2110
[営業部] TEL: 0268-81-1050 FAX: 0268-81-1551
http://www.nisseijushi.co.jp

新年互礼会は1月27日（金）

金型工組と共催し交流

講演は宮田修・元NHKアナ

工業組合は新年1月27日（金）岐阜グランドホテルで『新年互礼会』を開催する。例年どおり金型工業組合との共催で、成形加工業界と金型加工業界が交流し相互の発展をめざす。

互礼会、午後4時30分からの講演会で開始する。講師には元NHKアナウンサーの宮田修さんを招いて『ここを楽にする生き方』（仮題）をテーマに話してもらう。

講演後はパーティー会場へ移り、当工業組合から児玉栄一理事長ら組合員、金型工業組合は

黒田隆理事長ら組合員が出席する。席上に岐阜県はじめ関係機関の代表や、両工業組合の賛助組合員を招いて親睦と交流を深める。

講師は元ニュース7担当アナ



宮田 修さん

講師の宮田修さんは千葉県生まれ、昭和45年NHKに入局。大阪放送局時代には阪神・淡路大震災に遭遇、担当アナとして13時間にわたり被災情報をアナウンスしたことで名高い。NHKの看板ニュース番組「ニュース7」を4年間、担当して好評を博した。退職後は神職となり平成15年から千葉県長南町で宮司を務めている。

工場見学は新春2月3日（金）

鷺津のユニバンス本社工場

自動車部品を加工し各社へ納入

工業組合は新春2月3日（金）に工場見学会を実施する。見学先は静岡県湖西市鷺津にある『(株)ユニバンス本社工場』で、浜松や湖西にも

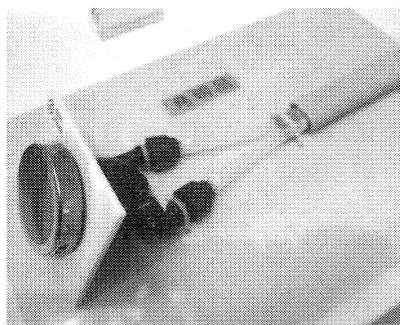
工場を持つ機械加工会社。主として自動車や産業車輛用のトランスミッション、トランスファー、減速機はじめとする機械部品を加工し、日産、スズキ、本田、いすゞへ納入している。

見学するユニバンスは午後の見学なので、午前8時に岐阜産業会館を出発、午前中にヤマハ発動機プラザを見学予定している。

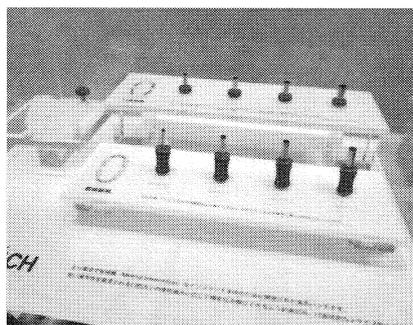
県発明くふう展で2組合員受賞

『岐阜県発明くふう展』が10月21日から4日間岐阜市のマース21で開かれ、当工業組合も協賛した。組合員企業では2社出品し、(株)オング

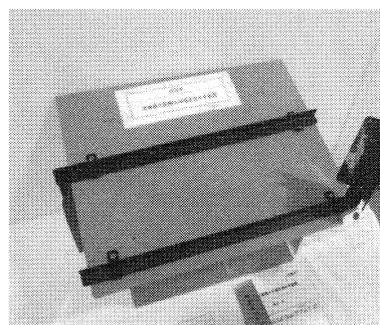
製作所が浴槽用の『JS型無極性循環口』を出品し岐陶工連賞を受賞。カイインダストリーズ(株)はインプラント手術用『歯肉パンチ』が機械金属協賞を受賞。当工組賞は飛騨市・西谷尚さんの『太陽熱で屋根雪を溶かす装置』に贈った。



浴槽用の無極性循環口



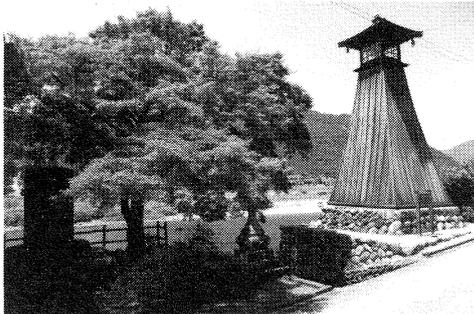
歯肉用のパンチ



太陽熱で屋根雪を溶かす装置

組合は創立50周年を目指しています

①美濃市上有知の川湊燈台(台県史跡)



美濃国四大川湊。江戸時代から明治末の水運を担った

岐阜県プラスチック工業組合
役員一同



コダマ樹脂工業株式会社

代表取締役社長 児玉 栄一

本社 岐阜県安八郡神戸町末守 377 の1
電話 (0584) 27-4141
支店 東京、大阪
営業所 本社
工場 本社、横井、熊本、栃木、池田

ポリエチレンチューブ
農業用ポリエチレンフィルム



株式会社 東海ポリエチ工業所

代表取締役社長 大野 實

本社工場 岐阜県羽島郡岐南町野中7丁目129番地 〒501-6004
TEL (058) 246-1313 番(代)
FAX (058) 247-2411 番
名古屋営業所 名古屋市西区城西5丁目5番4号 〒451-0031
TEL (052) 521-9296 番(代)
FAX (052) 532-1664 番
浜松事業所 浜松市西区入野町6056 〒432-8061
TEL (053) 447-2511 番(代)
FAX (053) 447-4248 番



代表取締役
杉山 元彦

各種プラスチック真空成型加工

パール化成株式会社



本社・工場 〒501-0473 岐阜県本巣市温井 243-3
TEL (058) 324-9155(代) FAX (058) 324-6221
岐阜工場 〒500-8256 岐阜市八坂町40番地の1
TEL (058) 271-0861(代) FAX (058) 275-0970
E-mail info@pearl-kaseihin.co.jp
URL http://www.pearl-kaseihin.co.jp/



ムトー精工株式会社

代表取締役 田中 肇

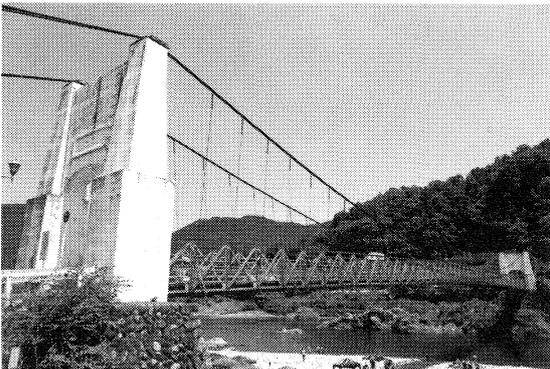
本社 〒509-0147 岐阜県各務原市鷺沼川崎町1-60-1
TEL (058) 371-1100(代) FAX (058) 371-2593
岐阜工場 〒509-0147 岐阜県各務原市鷺沼川崎町1-93
TEL (058) 383-8311(代) FAX (058) 383-1516

アテナ工業株式会社

代表取締役社長 下野 泰輔

■本社・工場 岐阜県関市下有知5601番地の1
TEL (0575) 24-2424 (代表)
〒501-3217 FAX (0575) 24-0567
URL: http://www.athena-kogyo.co.jp

②小倉山城下の美濃つり橋(国重文)



国内に遺る近代つり橋の中で最も古い。大正5年架橋。120%。

業務用食器一式・製造卸・治工具金型設計制作



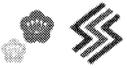
大垣プラスチック工業株式会社

代表取締役

日比勝次

本社工場 大垣市大島町2丁目394番地
〒503-0001 ☎ (0584) 81-1347(代)
精工部 ☎ (0584) 75-0333(代)
FAX (0584) 81-1350

E-mail : ogaki-pla@okbnet.ne.jp


岐阜産研工業株式会社
 Gifu Sanken Kogyo Co., Ltd.

成形事業部
 ギフト事業部
 キャスター事業部

代表取締役社長 林 敬一郎

〒501-0555
 岐阜県揖斐郡大野町公郷 1403 番地


ISU Ecoの輪を技術と製品で広げる

岐阜プラスチック工業株式会社

取締役社長 大松 利幸
 本社 / 岐阜市神田町9-27 大岐阜ビル12F
 ☎ (058) 265-2232(代)


関プラスチック工業株式会社
 プラスチック製品成形加工・プラスチック精密金型設計製作

代表取締役
 洞 田 禮 彰

〒501-3904 岐阜県関市明生町2-7-10
 TEL <0575> 22-4352(代)
 FAX <0575> 24-5131
 E-mail : office@sekipla.co.jp


高安株式会社
 ECOナイロン樹脂「タナロン」の製造・販売
 再生原着ポリエステル短繊維の製造・販売

代表取締役
 会 長 高 安 義 英

岐阜県各務原市蘇原村雨町3-47
 〒504-0828 TEL (058) 382-2231(代表)
 FAX (058) 389-4563
 URL <http://www.takayasu-rf.co.jp/>
 E-mail : soumubu@takayasu-rf.co.jp

独創技術で複合材の明日を拓きます


天龍コンポジット株式会社

代表取締役社長 大竹 正 泰

〒509-0304
 岐阜県加茂郡川辺町中川辺1430番地1
 TEL 0574-53-2351
 FAX 0574-53-2354


NISSEKI CO.,LTD

プラスチック原料の着色加工

株式会社 **ニッセキ**

代表取締役会長
 石原良美
 ■本社工場〒503-0653
 海津市海津町内記 194
 TEL (0584) 53-0238
 FAX (0584) 53-0359
 nskkaizu@cctn.jp


Hachimankasei Co., Ltd.
 plastic products

取締役会長
 高 垣 美代子




八幡化成株式会社
 本社・工場 〒501-4204 岐阜県上市八幡町旭182番地
 TEL.0575-67-1175 FAX.0575-66-5150
 takagaki-m@hachimankasei.co.jp
<http://www.hachimankasei.co.jp>


MUTOH

代表取締役社長
 武藤 修平

株式会社 武藤化成工業所

本 社 岐阜県関市武芸川町跡部781 〒501-2605
 TEL.0575-46-3711 FAX.0575-46-2285
 第二工場 岐阜県関市武芸川町跡部972 〒501-2605
 TEL/FAX.0575-46-2720
 shuhei-m@mutohkasei.jp
<http://mutohkasei.jp/>



FUKUSHIMA
KAGAKU



代表取締役社長
福島康貴

株式会社 **フクシマ化学**

本社：〒905-0051 美濃加茂市加茂野町鷹之巣字四ツ田1912番1
TEL: (0574) 26-1138 FAX: (0574) 26-1139
第一工場：TEL (0574) 24-5425 FAX (0574) 24-5362
第二工場：TEL (0574) 24-5358 FAX (0574) 24-5359
E-mail: yasutaka@fuku-net.co.jp
http://www.fuku-net.co.jp



エンジニアリング
プラスチック成形加工
3Dプリンター加工



ISO9001 : 2008
ISO14001 : 2004

株式会社 **川瀬樹脂工業**

代表取締役社長 **川瀬忠雄**

〒503-0011 岐阜県大垣市曾根町1丁目686番地

TEL (0584) 27-2566
FAX (0584) 27-5956
E-mail: t-kawase@sunthree.co.jp
URL: http://www.kawase-pla.com/



プラスチック原料製造販売
委託加工及びカラーリング

美濃化学工業株式会社

代表取締役 **吉田健司**

〒501-3763

岐阜県美濃市極楽寺 1 4 5 1 - 1

TEL (0575) 33-1888 FAX (0575) 33-1618

E-mail: mk1451@ceres.ocn.ne.jp

岐阜県のプラスチック
2016年 第226号

平成28年12月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号
(岐阜産業会館4階)

電話 (058) 272-7173

FAX (058) 276-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 岩津 文子

全てのニーズにお応えするJPP
技術力で信頼にお応えするJPP

Excellent Polypropylene

日本ポリプロ株式会社は、全てのお客様の信頼に広範かつ高度な技術力で適確にお応えしてまいります。

ノバテック®PP

卓越した材料設計技術で広範な応用分野のニーズにお応えするポリプロピレン

ウィンテック®

独自のメタロセン触媒技術によって開発された新世代ポリプロピレン

ニューコン®

当社独自の気相重合法によって制御された特異的な固体構造を有する新規ポリオレフィン系リアクターTPO

ニューストレン®

高い溶融張力を有し、大型ブロー、肉厚シート成形、異形押出成形が可能な高機能ポリプロピレン

ニューフォーマー®

高い溶融張力と歪み硬化性を有する発泡成形用ポリプロピレン

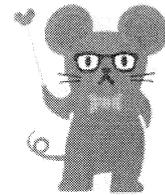
ファンクスター®

射出及び溶融圧縮成形向け高性能ガラス繊維強化ポリプロピレン

日本ポリプロ株式会社

〒108-0014 東京都港区芝4丁目14番1号 TEL03-6414-4500

**岐阜県プラスチック工業組合
会員企業の皆さまにお得な情報!!**



PCB分析・処分キャンペーンのご案内

PCBは法令により製造・新規使用の禁止および回収が義務付けられ、規定の処理期限までに適正に処分する必要があります。

PCB分析をはじめ各種分析や環境調査を行う、株式会社テクノ中部(**中部電力グループ**)と連携することでお値打ちにPCB分析および処分のお手伝いをさせていただきます。

【キャンペーン期間】

平成29年1月末までにお見積依頼をいただいたお客さま※を対象とさせていただきます。

※ 電気設備の保安管理を中部電気保安協会で行われているお客さまは、中部電気保安協会のご担当者様にご相談くださいますようお願いいたします。

ビジネス向けWEBサービス「ビジエネ」のご案内

ビジネスの課題解決に
役立つ情報が満載です!

ビジエネのご登録はこちらから

<https://bizene.chuden.jp/>



省エネ

ビジネス向けWEBサービス

ビジエネ

ビジエネキャラクター
ビジエネズミ

節電ポイント

電気料金見える化

経理ご担当者さまに好評です!!

「ガスもはじめる!中部電力」のご案内

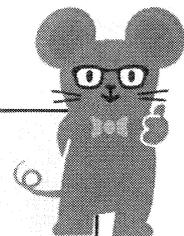
ガスもはじめる部

GAS 2017 START!

ガスの小売全面自由化に伴い、2017年4月からご家庭を含めたお客さまにもガスの販売をはじめます。

これからは電気もガスもお届けするエネルギーのプロとして、より一層お客さまのお役に立つパートナーを目指します。

※東邦ガスの供給区域で都市ガスをご利用のお客さまを対象に販売させていただきます。



2017年1月 ガスのおトクな料金メニューの受付開始予定。

中部電力のガスにご期待ください!

【お問合せ先】

中部電力株式会社 岐阜支店 営業部 お客さま営業グループ
〒500-8707 岐阜市美江寺町二丁目5番地 ☎058-264-3343

KODAMA

時代のニーズに応える、次世代容器

ハイパーピュアボトル

NEW

ハイパーピュアボトルは、半導体用高純度薬品容器として、
新たな成形技術により生まれた高品質・高精度な多機能容器です。
高いバリア機能を有した高耐久・ハイクリーンな次世代ボトルです。

特徴

ハイクリーン化の実現

原料メーカーと共同開発した原料を使用することによりハイクリーン化を実現致しました。
また、更に当社独自の製造技術革新によりパーティクルを大幅に減らすことが可能になりました。

多層容器の開発

従来のピュアボトルの2層構造に比べ、ハイパーピュアボトルは5~7層構造になっており、最内層樹脂の選択が可能となり、クリーン性とバリア性を同時に実現することが可能となりました。

安心・安全

プラスチック容器であるため、耐久性・耐衝撃性に優れ、破損の心配なく、安心してご使用いただけます。

環境との調和

ガラス瓶に比べ、破損等の心配がなく、軽量であるため取扱い易く、輸送面において環境に優しく、より経済的効果を得られます。



Kodama Plastic co.,Ltd



コダマ樹脂工業株式会社

<http://www.d-kjk.co.jp>

本社 〒503-2393 岐阜県安八郡神戸町末守377-1 TEL 0584-27-4141

営業拠点
本社営業部 〒503-2393 岐阜県安八郡神戸町末守377-1 TEL 0584-27-4992
東京支店 〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目16番10号 TEL 03-3564-5266
大阪支店 〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目5番2号 TEL 06-6341-0015